夕刊
磐城新聞
七月七日發行
定價 一ヶ月金六拾錢 一部金五錢（郵税拾五錢）
廣告料金 普通欄一行金六拾錢 雜報欄一行金九拾錢（場所指定二割増）
編輯印刷兼發行人 柏木哲 福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞合資會社
登錄受信略號（タイラワイキ）平局私書函第十二號 電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

農人としての私。
市川健次

○
白鳥省吾氏が言はれたやうに、私も亦『詩を作りながら田を作れ』主義である。私は常に野良の百姓仕事に従ひながら詩や歌を作つてゐる。習慣といふものはおそろしいもので私は机の前に座つてゐる時より百姓仕事をしてゐる方がよつぽど氣分がよくおちつくし、それに自然の中には實に測り知ることの出來ないやうな大きな、深い、そして又デリケートの詩の暗示が埋藏されてゐるからである。田に働いてゐる時など、殊によく思索がはかどり、詩想が純一になるやうに思ふそうした時、いつも私は、勝承夫氏が言はれた言葉の意味を思ひ起すのだが『詩作に最もよいのは散歩中である』といふ意味であつたと思ふ、これは、歩行のリズムが我々の腦に何か快い整調を與へる爲らしい、私は常にこれを經驗して不思議におもつてゐる。

○
お正月とか、雛節句とか其の他の農村の休み日など色々たまつてゐる手紙の返事や、浄書しなければならない詩もあれば、讀みたい讀みたいとおもつてゐて讀めなかつた本などを讀まうと、前々から樂しみにしてゐるのだが、さてその日になつて見るとさつぱり氣もちが落ちつかないのであるで結局雜誌類の拾ひ讀みをする位なもので、無闇にタバコばかりふかして過してしまうのが常である、其癖そんな時は、何ともいへぬいらいらした氣持ちである。

やはり、で忙しいことは私にとつて幸なことだとつくづく思ふのである、私のやうな人間には、よし周圍の事情がゆるされたとしても、日夜讀書と詩作のみに過してゆくことはとても出來ないやうだ、出來てもろくなことは出來ないだらう『靜中の動』『動中の靜』かうした言葉の意味がよくわかるのである。そして私の場合後者の方がより適してゐるやうである、繁劇な仕事の間の、わづかな休息の時、をのづからにしていづる詩心、そこからのみ私の詩は發展してゆくらしい。

○
空に浮び、流れる雲はひとときとして同じやうな形をたもつたことはない、土にかくされた神秘は、測り知ることの出來ない深さを持つてゐるのだ――あらゆる意味から、それを少しづつ掘り當て、掘り出してゆくことの苦しみとたのしみそれは何といふたふとい苦しみでありたふといたのしみであらふ。

短歌の方面では、既に農民の中からも隠れた人々が出てゐる、結城哀草果、吉植庄亮氏など。だが、幸か不幸か、童謡詩の方では私の寡聞からかまだないやうだ。百姓である以上、私は年ごとに立派な稲をつくり立派な西瓜をつくり、立派な麥をつくりたいとおもふそして、せめて一月に一篇でもいゝ、一年に一篇でもいゝ、誰に見せてもはづかしくない立派な童謡詩を書きたいとおもつてゐる。（をはり）

時代警語

○寗越の學……………（呂氏春秋）
寗越苦んで耕稼し曰く、何を以てか此の苦を免るべき、其友曰く、學ぶに如かず、三十年以て達すべしと、寗越曰く、請ふ十五年を以てせん、人將に休まんとすれど吾敢て休まず人將に臥さんとすれば吾敢て臥さじと答へたりしが後果して成功せりと……

潮聲硯靜抄帳
（六月集）8

今日からの風なつかしや青簾　十里
連れの來て着直して行く袷哉
五月雨に蠶糞の匂ふ山家かな
五月雨や淋しく光る佛間の灯（次男逝きて）　芳月
讀さしの雜誌を顔やハンモック　香雨
紙魚喰ひし卒業證書懐かしき　武門
干し夜具の埃拂ふや柿の花　眞砂常

犬
小田俊夫

口笛吹いたら
犬
大根畠の向ふから
うれを越え
うれを越え
走つて來た
顔かたむけて
犬
わたしの樣子をみてゐたが
しつぽふり
しつぽふり
ワンと吠えた
手まねきしたら
犬
そばへは來ずに向なかへ
大根越え
大根越え
歸つて行つた。

玉川學園行き
高木愛二

玉川に遠く旅來てみん〳〵の初音きくとは思はざりしに
聖堂の二階の窓に枝のべしその松のうれにみん〳〵は居り
聖山に登りてみれば雨止みし關八州は夕ぐれにけり
がん下の峽にひゞかふ澤の音さえたるままに峽暮れんとす
梅雨ぐもりけ寒き夕を聖山に一人し立ちて心さびしゑ
雨あがり夕日あかるき新湯殿うらやすしけれ湯を浴みにつつ

寄稿家諸君に
寄稿輻湊に付既に寄せられたるものゝ外地方色なきもの（詩歌俳句等を除く）は當分原則として採らぬ事と致します。

拈華微笑
ドサリ下つた。待ち兼ねた石炭の運賃ぢや無い大野の地盤
◇
平驛の赤字。澤山でも無いが一日平均三十三圓程
◇
馬一頭が十八圓毎度乍ら子供の玩具にした處で高くは無い
◇
延び〳〵になつて居た何かより早く出來た四倉小唄。四倉音頭
◇
東京から鮎釣りに、不景氣なんて何處の國の話

社會の今日
7月8日
△外國奉行を置く（安政五）△華士族分家の者を平民とす（明治七）△始めて學士號授與（同一二）△元東京市長西久保弘道氏逝く（昭和五）△小橋前文相等控訴公判前判決通り求刑△米國ロビンス・ジョーンズ兩氏の太平洋横斷機シアトル出發東京に向ふ（同六）

○
午睡から覺めた許りの目ににじむ部屋にさし込む暑いたまり日　赤星端

健康と精神
松本玲一

五
地表には空中にも土中にも多量の水分を含有し、そこへ太陽の光が來て山野に生物が發生する、砂漠には生物は生存しないと考へるのが至當であらう。水そのものも蒸發し、空中に於て種々樣々な形を現はす、水は低い方に向つて流れ、空より雨が降つて來ると水面に波紋を生じ、地上に水の流れが生ずる。春の暖かな日、田園シーン、さゝやかな小川の邊り、水の流れは生命そのものの樣である。一雨毎に緑を増す梅雨の時黑土は益々水分を含んで指先の動く毎に田の面の緑に化して行く、苗は三伏の炎熱を浴び、根より養分を吸收して生長し、花が咲いて實る、それを食ふと我々が生長する。

生物体を構成する原素は炭素、酸素、水素、窒素、燐、硫黄、鐵、カリウム、カルシウム、マグネシウム其他二三の原素より成つてをる、其の中炭素と酸素と水素とが大部分を占め、酸素と水素とは水の割合で含有せられてゐるのが普通であるから、簡單に云ふと生物とは水と炭素との化學的又は物理的作用である。

化合物を分つて無機化合物と有機化合物とする、無機化合物とは水、アムモニヤ、硫酸等簡單な原子の結合より成るが、有機化合物とはメタン、アルコール、セルローズ、蛋白質、澱粉等主に炭素、酸素、水素、窒素との化合物である。一に炭素化合物を有機化合物と云ふ。後者は要素は少いが極めて複雜な原子的結合を爲し、一分子中に數百の原子を數ふるもの多く、前者よりはずつと生物に近い機とは機械的又は動的等と考へられ、無機とは機械的又は動的に非ざるもの、有機とは其の反對に、機械的又は動的であると説明しても大した誤りは無からう。

生物とは食物を食ひ、生長し、活動し、繁殖し、或は年齢の生活の後死する。その食物の主なる物は、水、蛋白質、脂肪、炭水化物、即ち砂糖や澱粉等の外にビタミンが必要である。之は人体を機械に例へたなら其の運轉に必要な機械油の役目をする。砂糖や澱粉は一名含水炭素と云ふのは、水を含んでゐる炭素、即ち水と炭素との化合物と云ふ意味である。御飯を造るのに米に充分水を入れて煮ると終りには米は水を吸收して膨れ出す、うまい御飯になる。水化して御飯になる。それを食べると我々の肉体を養ひ、我々は生育する。植物化して肉となる、今日は科學實驗が進んで來たので、人工的に無機物を有機物に變じ、植物より肉類を製するのに成功してをる。

譚　お蘭陀お蝶
（75）渡邊默禪作　布施長春畫

いよ〳〵解らなくなつて來た、どういふ譯かと考へてゐる中にお吉はシク〳〵と泣き出して、いきなり炬燵の上に突伏した髮から拔けた硝子細工のかんざしがぽたりと蒲團に落ちると其處に寢てゐた狆の玉が顔を打たれびつくりして、急いで飛下りながら欠伸をする
『お泣きなさるところを見ると、何ぞ餘程の事がおありなさるでございますね、さあ其の譯を言つてお聞かせなさいませな、どんな事でせうとも此の婆やが引受けてきつと其の胸の霽れるやうにして進せますから、さあお嬢さまおつしやつて御覧なさいまし』
搔寄つて背をさする樣に左の手をかけて、そうして右手で涙を拭いてやる、まるで泣く兒をすかす樣な優しい取做である、とお吉は其の指を固く握つて甲の所へ自身の額を押しつけて甘つたれた聲で。
『婆や、わ、私、口惜しいッ！』
と身振ひした
『えッ！口惜しいとは？』
『お、お柳が……お柳が』
『は、お柳といへばアノ大鹽樣のお屋敷へ上つた、彼の方ですね、其のお柳さんがどうかしましたんで？』
『わ、私を馬鹿にしてね』
『おや怪しからない』
『欺まして恥かゝしたの、婆や私情ないわ』
『へえ、お柳さんがあなたを……一体そりや、いつのことで大鹽樣へ上つてからもう一月になりますのに、今時分、何を思ひ出してゐらつしやるんで……オホヽヽおかしうございますね』
『あら、然うじやないのよ解らない婆やだね』
『だつて此頃にお逢ひなさる筈が……』
『逢はなくたつて手紙といふものがあるぢやないか』
『お手紙で恥を……其れは又反對でございませう、あなたは字が上手で文句も旨くてゐらつしやるのに、お柳さんは無筆だもんだからあなたに恥をかゝされたのぢやこざいませんか』
『いゝえ〳〵其んな暢氣な話ぢやない、さ婆や此の手紙を見ておくれ』
帶の間から出したのは舊臘中、お柳から來た返事だつた、何遍も讀んでは泣き泣いては讀んだものと見えてしわくちやになつてゐる何を書いてゐるのか無教育なお各は解する眼がないので、お吉に讀んで貰ふと
取急ぎお返し申し上候御心中かさね〴〵お察し申上げまゐらせ候へども何分物堅き御家風にて左樣のはしたなき事ども申上げがたく、私の淺き智慧にては所詮お頼みを果すべき工夫も思ひつき申さず誠に〳〵お氣もじ樣には候へども、お斷り申上げ候まゝ惡からずお許しの上、此の事はさつぱりと思ひ切り下され度く、委しきことはお目もじの折にあら〳〵かしこ。
柳より
と、あつた、是だけでは何の縺れやら、お各には判じがつかぬ、でいろ〳〵と訊ねて見て、初めて一切の事情が知れた、お吉は此の返事を見てから急に一種の憂鬱病になつたのである。其のヒステリーも戀其の物に對する失望と懊惱ばかりでなくつて、お柳に對する不平と不快の念とが、寧ろ原因の多くを成してゐた。

ラヂオ
……八日……〔金曜〕……
仙臺 JOHK

△前六、三〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象
△九、一〇 料理獻立（グラニット西瓜…冷菓）朝倉長吉
日用品値段
△一〇、三〇A 家庭講座（乳幼兒の便通と哺乳について）平野忠七
△五午A 時報
△後〇、〇五B 新日本音樂 一、出漁の唄 二、小鳥の唄 三、孤島の春宵 四、奔流 尺八…吉田泰山 同…鈴木皓山 外八名
△〇、四〇A ニュース 氣象
△二、〇〇A 講演（儀式や集會の生花の配合に就いて）山田清雅
△三、四〇A 氣象
△四、〇〇 ニュース
△六、〇〇A（子供の時間）童謡と唱歌 四谷第三小學校兒童
△六、二〇A コドモの新聞 村岡花子
△六、二五A カレント、トピックス ハロルド、バーマー
△六、三〇A 英語講座（初等科）岡倉由三郎
△七、〇〇A ニュース 氣象 生繭相場
△七、三〇H 講演（ラヂオ氣象通報の利用）東北帝大教授理學博士中村左衛門太郎
△八、〇〇 祭禮囃子 一、催馬樂 二、御田植踊 解説…國幣中社伊須美神社宮司渡邊慰次
△八、三〇A 落語（東西夫婦）柳家金語樓
△九、〇〇A 浪花節（柳田角之進）筑波雲
△九、三〇A 時報 ニュース 氣象 生繭相場
A 講演（ラヂオの近況に就て）日本放送協會常務理事小森七郎

高久病院（電話五一三番）
平町田町
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
内科 外科 小兒科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

御荷主本位ノ運賃、叮嚀、迅速
平本貨物自動車部
平町仲町三 電話五六一番

夜間診療
胃腸病 内科 十二指腸虫病 專門 内科部
梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院
（平南町電話一〇一七番）

アンキローム…………1圓
（十二指腸虫病驅除必滅錠劑）
條滅（絶食の必要なし）……1圓30錢
（さなだむしおろし）
平町二丁目
堀藥局
電326番
平簡易保險相談所指定藥局

産科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井阪醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

御子樣用防水マント
御子樣方の御通學に是非必要な防水マントを種々取揃へました。
◈ゴム引………0。85より
◈中ゴム………1。30より
◈同（女兒用）…1。40より
通學服も種々取揃へて御座います。
あかや洋服店　平三 電203

タクシーの御用命は是非…尼子タクシーへ
親切安全第一を主義と致して居ります
電六四〇番
主任 澤資之（もとゆき）（正改）

石炭の大特賣
◉塊炭 正味十貫目 一俵金貳拾錢也
▲『品ガ良ク』『値ガ安ク』『目方ハ正確』デス。
▲トニカク一度使ツテ見テ下サイ。
◉配達ハ一俵ヨリ致シマス。
御注文ハ 電話三七番
阿部石炭商店
平停車場前

三間位の間隔を置き階段狀をなして陷沒

目下の被害區域六町五反步

大野村柳生其後異狀無し

昨報大野村大字下柳生安手山に於ける龜裂陷沒の被害區域は木田剛氏外七名所有の山林六町步畑五反步で目下の處損害概算二千圓と觀られてゐるが不思議な事には各三間位の間隔を置き稍々正確なる階段狀をなして陷沒した事で最も甚しいのは陷沒二丈に及んでゐると、因に今回の陷沒に關し該當地質として觀察されてゐる所謂『洪積層』の概念は次の如くである

——新生代第四紀の前半。現代の沖積期の前で氣候の寒暖數回交番し歐米の北半は氷河に被はれた、動物にはマンモス等の象類の他大哺乳類多く原人及眞正人類も現はれた、此時代の地層を洪積層と云ひ巨川の谿谷高原等に存し砂礫、粘土、クローム等から成る（三省堂百科辭典抄錄）

赤字約四千圓也

去月中の平驛

平驛去月中の旅客貨物取扱は（括弧內は前年比較）乘車三五、〇八〇人（△四、三五八）降車三三、八三四（△四、八九六）運賃一六、九七七圓五〇（△一、三三三圓二八（貨物）發送三、一六九噸（△一、六六〇）到着九四五噸（△一、五二七）運賃一七八圓〇七（△二、三七六）で合計三千九百八十二圓九十五錢の赤字となつてゐる

月末迄に十三萬餘圓

税金調達に困む酒屋さん

來十六日より三十一日迄が納期となつてゐる平税務署管內今年度酒造税第一期分十三萬三千圓の納付に就ては郡下現在三十七軒の酒造家が早くも頭を痛めて居るが不況の折柄賣掛金の回收付かず興銀からの低利資金借入れ希望既に五萬圓に達したので組合では十五六日頃借入れ打合會を開く事となつた、酒造家は毎年減少する一方で昭和元年の五十四軒一ヶ年税額七十九萬三千圓と比較すれば著しい激減である

案外好成績裡に川前の馬市終る

豫定平均價格を突破

川前村の二歳駒糶市は四、五、六の三日間下稲賣で開かれたが出場頭數百三十九頭で價格は最に双葉郡川內村に於ける最近の實例に徵し少からず悲觀されたに拘らず意外にも最高百五十圓最低十八圓合計五千五百九十八圓で平均の四十四圓二十三錢三厘は豫定を突破する事二圓と云ふ好成績であつた

四倉築港記念の「小唄と音頭完成」

起工式當日華やかに上演

四倉町藝妓屋組合では近く行はるる漁港修築起工式當日迄に間に合はすべく四倉小唄並に四倉音頭の作成方を東京の專門家に依囑中であつたが此程內山惣十郎氏作詞、篠原正雄氏作曲、西川扇五郎氏振り付にて豫定通り出來上つたので同地藝妓連は目下腕に撚りをかけて猛練習中である、小唄歌詞次の如し

春は櫻か、春は櫻か、瓢簞かたげての公園に、花見も嬉し、かはす盃、花びらうけて、飲めばほんのり、戀心地、ソレ戀心地。

夏は樂しい、夏は樂しい海水浴に、松の砂濱、女波がまねく、はでな水着の、姿も嬉し、すきなお方と、二人づれ、ソレ二人づれ。

秋は月見の、秋は月見のあの新舞子、君とそぞろに、砂原ゆけば、沖の漁火、浪間に浮いて、月の濱邊に、千鳥啼く、ソレ千鳥啼く。

冬は名物、冬は名物、火合戰、散らす火花に、勝鬨あけて、男らしさか、あの武者振りに、娘ごころの、血も燃ゆる、ソレ血も燃ゆる。

磐中、平商兩野球部合宿練習に入る

縣大會に出場の意氣昂る

磐中、平商兩野球部ではあと二週間餘りに迫つた晴の縣下中等聯盟体育大會に平商は初陣、磐中は雪辱の爲大に善戰すべく兩校とも考查中なるに拘らず毎日猛練習を積んでゐるが中學は十日から久慈元早大捕手、商業は十二日から中山元高商捕手のコーチの下に合宿練習を開始すると部長も自信があると語つてゐる程で而も大將組の川隅は去年よりも當りが良く欠點としては四年生なので一寸上り氣味だが二人共昨年副將として出場の大試練を經てゐるのでこの大將組は確實とされ副將組大谷は未だ二年ではあるが強く平倶樂部の大坪、根本、藤田等の先輩により昨六日から十日間に亙つて最後の練習を開始したと

庭球部

磐中 大將（前）川隅英範（後）竹澤五郎、副（前）大谷德雄（後）小川享の強豪ぞろひで今から榮冠を覘つてゐるが根本

平商 選手は小齋、安島、齋藤、木田（補）塚本、根本と決定したが木田、齋藤は昨年大會に出場した選手で進境著しく初陣の小齋、安島も勝るとも劣らず室原監督は大丈夫三回戰位には殘る確信があるものの如く相双兩中學より強いと取り沙汰されてゐるが新矢野校長も庭球部の方が野球部より一段レベルが高くピカ一だと驚いてゐる

ヒラタで—拾つた話—(23)—

裸形の女王潤步

今夜ダブルかシングルか

裸体流行、露出流行、ステージに立つレヴュー女優の、全裸に近いズロース一つのハダカダンスに驚いてゐる中に我々の眼前に肩から腕をむき出しにした、脛も腿も此れ見よがしの妙齡の美人が大手を振つて街頭を潤步しはじめた。

×

それは實に四倉海水浴場の水着姿ではないのであつて、植木屋の夜店にアセチリン瓦斯の光り耋の如き——再たしてもお引き合ひに出すやうだが其の所謂タヒラのプロムナード、例の銀行の四つ角邊を、斷然近代青年、髮長く口笛うまき彼氏等に交つて悠々と漫步する花羞づかしきマドムアゼル彼女の颯爽たる姿なのだ何とウルトラ。エロの跳躍亂舞ではあるよ。

×

華やかなスポーツ熱に朗かに汗ばんだ一九三二年の夏である。彼氏は云つた——世界の精鋭を集めたロサンゼルスの勝敗如何を豫想する事によつて、そろ〳〵始まつた蒸されるやうな暑さもケロリと忘れることが出來る筈だ。

×

御托宣はまた續く——スポーツなるかなスポーツなるかな、新興スポーツ王國日本の選手の腕や、脚や、力や、意氣や果して奈何、既に榮えある首途を送つた吾々は、其の有力なる背後の支援として男も女も常住座臥スポーツマンの心意氣で遙かに吾等の選手が奮い記錄の作成にピラミット頂上最後の一石を築き上げる事を祈らなければならない——。

×

さてこそ天晴れスプリンターの格好をした彼女が今宵も勇敢に人混みの銀行邊を泳ぐ事となつたのである鹽辛き垂涎を甜めづり乍らその後を跟いて行く變態性慾者A・B・C・D

×

その頃新田町の格子內では、お座敷待つ阿嬌連がアッパッパの裳から扇風機の凉味を滿喫して今夜はダブルかシングルか?を占つてゐるであらうと

磐中の河童

古河の大會へ

磐中水泳部左記選手は十日古河炭礦主催の大會に出場する

（短距離並リレー）遠藤、新田目、木田、阿部（胸泳）芳賀、國井（自由型）渡邊、木村、水野、澁谷 渡邊

異動地調查

平税務署管內の異動地調查人會は八日午前九時から同署樓上で開催し新法に關する質疑應答等あるが十一日から二班に別れ向ふ六十日間に亙り平、湯本、四倉、植田、勿來、小名濱六町一ヶ村の異動地調査を行ふと

賑ふ菊田の香魚漁

連日一竿の風月を娛む

東京下りの太公望一行

川部村四時川及び鮫川等の鮎漁は去一日の解禁以來連日相當の獲物あるので附近の常連は素より東京方面からも現在二十名內外の熱心な天狗が來郡し盛に一竿の風月を娛しむ之等の人々で常に見られぬ活氣を添へてゐるので錦村鮫川誇揚會では之等來遊者の爲め釣船を浮べて便宜を與へる事になり一層の賑ひを期待されてゐる

點呼人員

四倉町外三ヶ村陸軍簡閱點呼は來月四日午前八時より同町小學校庭に於て執行官本郡出身本多乙彥少佐により執行さるるが被點呼者は四倉町後備步兵軍曹石川正司氏外七十一名をはじめ合計二百四十四名であると

梁川庄八に憧れた冒險術修行の娘

內鄕の主家に伴れ戾さる

內鄕村綴字榎下六四旅館常陸館事近納信義方女中栃木縣鹽谷郡泉村小泉三八、六郎姪高橋きん（一七）は既報の如く梁川庄八、十七代目の後裔冒險師梁川神龍齋の技術を覺ゐるためその跡を追ふて無斷家出したので仙臺署に願ひ出で搜索中であつたが五日午後八時半頃仙臺市元寺小路鶴屋旅館に單獨宿泊してゐるのを發見し前記內鄕の主家で引き取る事となつた

第二校花祭

既報—平第二校の花祭は今七日午前九時から講堂で開催したが生徒各自が持參した花束は正、側面に一杯に飾られ父兄母姉も多數參觀し頗る盛會裡に唱歌、遊戲、劇、話等盛たくさんなプログラムにより午前十一時學藝會を終り町內二十一病院を歷訪百三十六名の患者に花束等を贈つた

『滿洲行』 筆者の都合により本日休載

勤務演習應召

○○○○ 來月中演習召集の爲入營する四倉町在鄉軍人左の如し

（一日）本田守治（鐵兵）池田貞一（步一）起橋德三（鐵補）（八日）荒井精次郎（砲一）（十四）菅波稻事（輜少）

校外監督協議

町內小中學校關係者は十五日午後三時から平商校に會合し夏休中に於ける校外監督風紀取締に就き打合せをなすと

船から盜む

四倉の長手少年

四倉町字新町長谷川市之助（一四）假名—は去る五日深夜同町漁業組合附近を徘徊中擧動不審なので四倉署員が署に連行取調の結果同人は今春來同町古川竹松（三二）の手下となり海岸に引き上げ置く漁船から十數回に亙つて附屬品を竊取、之を古物商に賣り買ひ喰ひの費に充てて居た事を自白したので前記竹松を拘留處分に附し直に取調べを開始すると同時に少年は家人を呼び出し嚴重戒告の上一と先づ歸宅を許さる

嘘つき天才の怪少女

けふ再た第二校へ

親を呼んで引き取らしむ

昨報—まことしやかに嘘萬八を並べ立てまんまと平第二校の職員を丸め込んだ怪少女佐藤益子（一〇假名）は正體を知られたとも知らず今七日午前十時頃再た候同校を訪れ昨日は病氣で休んだと玉木訓導に言譯したので其の不心得を諭し親許に通知して引取らしめたが同人は最近こんな始末で休校させられてゐた兒女であると

平町青年團

明八日午後七時からマルトモホールに於て藤田榮助氏を中心とする座談會を開催すると

藥業組合發會延期

○○○○○ 植田署管內支部發會式は五日開催の筈であつたが都合に依り無期延期した

磐女同窓會役員會

○○○○○ 今七日午後二時から校內に開催總集會期日に就て打合せをなした

溺兒を救ふ

大野村上柳生幕內貞良長男洋（四）は去る二日午後五時頃自宅前の玉造川に轉落約二百米流され居たのを折柄通行中の下柳生木田豐氏が發見飛び込み救助したので其筋から表彰の申請中であると

正木磐女校長出席

○○○○ 明後九日安積高女に開かれる女子中等體育大會理事會へ

一の矢天王祭

○○○○ （內鄕村御台境所在）明後九日より十日へかけて執行される

福島炭礦慰安會

○○○○ 昨六日午後五時から福島座で從業員の爲映畫會を催した

運送屋訴へらる

○○○○ 平町一丁目運送店山木登（三六）は昨年一月中同町久野柳助から取り立てた兵庫縣明石市森川製粉所の賣掛金百五十七圓を橫領し今七日平署に告訴された

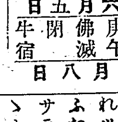
歸鄉旅費を哀願

○○○○ 滋賀縣伊香郡木之本町生れ大下啓（四二）は此程まで北海道小樽市で商業を營んで居たが不況の爲失敗し歸鄉の途中旅費に窮し今七日平町役場に旅費の惠與方を願ひ出た

平町慶弔錄

△出生 四丁目一九安達郡二本松町本町二ノ一鈴木安吉長男保 才槌小路四堤明三女富子 白銀町一二諸根正二三女え、子 古鍛冶町九二石井寅藏二女千代子 仲町二前田力二女キミ子

▲死亡 古鍛冶町一二大野庄二（三）

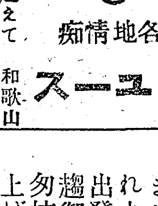


舊六月五日 金曜 庚午 佛滅 閉 牛宿

七月八日

諸判定應需 東京市本鄉區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白の人 實直はみづから玉を懷くと知れ人に珍重せらる▲二黑の人 榮華は身を滅すの基となる移轉建築開店凶▲三碧の人 敵の重圍に陷りたる如し一方の切拔も困難▲四綠の人 長上賢者の引立同情を失ふ我意に募るは凶▲五黃の人 賴る所は力とならずし力の及ぶ丈努力せよ▲六白の人 討死を覺悟にて奮闘すべし九死に一生を得▲七赤の人 希望放擲の止むなき日再考して後日を待て▲八白の人 びん乏神にみ鉾はれぬ樣腕を振つて働くべし▲九紫の人 氣分壯快にして萬事すら〳〵と運ばるる日



各地情痴ニュース

△死線を越えて 和歌山縣伊達郡西鄉村農中村義一（三三）君と同村本山ゆき（二一）サンは晴れて添はれぬ悲しさから入水自殺を企て、須磨一の谷海岸にボートを浮かべ、一里半も沖へ出た頃一、二、三で飛込んだが二人共泳ぎに心得があるので、死に切れず浮上つて相抱いて『強く、強く生きよう！』と誓つたとのこと

△血に飢えた刄 橫濱市程ケ谷區神戶下町一七七の金井定重（四五）は近頃內緣の妻飯島ゆきえ（二八）が他に男あるとの噂にカッとなり、外出先から拔き身の日本刀を携へて歸り一刀兩斷と我家へ駈込んだが、妻の姿はなく、用事で來てゐた友人の宮阪鐵卅（三五）に嫉妬のそば杖を喰はせ瀕死の重傷を負はせた

△愛は罪 愛すればこそ戀心の女函館市外湯の川村鮫川萬次郎の長女堀井シモ（三二）を慘殺して返す刄で己も自殺せんと企てゝゐる手を待つた！と取押へられた函館市外堀川町の漁夫加藤市太郎（三六）さん殺人罪で起訴され函館檢事局へ

△エロ未遂就縛 萬野忠義（三〇）は數日前滋賀刑務所を出たばかりのものだが、この程西宮夙川堤防を通行中の一人のご婦人に尾行し乍ら、サテ抱きついたらあれッといふだろ、お金といふたら逃げ出すだろ、ハテサテと思案の揚句、えゝまゝよ、一と思ひに抱いてやらうとエロ氣に決めたら再度御用

△憎い否可愛い 神戶市神戶區仲町一丁目石工黑田萬吉（三七）は苦しい中から搾へた駈落費用を懷ろに料理屋湊西區小河通りの鑑繼方にいたり仲居の中村コイエ（三〇）を口說いたがコイエが聞かぬので憎い女めと突き飛ばした拍子に女の額は傷つき、抱き起したが事おそし、二人の署員に引き離されて本署へ

金 銀 プラチナ 高價買入舛
平町田町丸新デパート假營業所
根本時計店

一番よい無盡
無盡は三モ
湯本信用無盡

藤沼醫院 平町紺屋町電五〇七

在平中は公私內外多大の御高庇を被りまして御禮の申し上げ樣も御座いません。今回富山支局在勤を命ぜられ九日午前十一時十八分發磐越線で出發赴任するに就きましては一々拜趨御挨拶可申述筈でありますが行李匆忙の際乍略儀以紙上右御暇乞ひ申上げます。
敬具
報知新聞平通信部
渡部正一
（出發迄いはらき支局內に假寓）

度量衡。計量器。
吸入用酸素。
酸素吸入器。
關內藥局
電話四〇番

東京田久保製
堅牢無比丸ゴム輪付
小供自轉車 一圓五十錢ヨリ
大形特等自動車 三圓八十錢ヨリ
二人乘乳母車 八圓五十錢ヨリ
數育玩具雜貨 問屋 商號豆屋
森下商店
平町一丁目 電話三九七番